

1月 園だより かけはし

キッドワールドこども園
令和7年1月3日

あけましておめでとうございます

今年も和顔愛語(優しい笑顔と優しい語りかけ)で子どもたちと関わり、子どもが現在を最もよく生きることができるよう、最善の環境を整え、子どもに対して真直ぐ関わっていき、子どもの成長を保護者の皆様とともに支えていきたいと思ひます。本年もどうぞよろしくお祈ひします。

さて、令和6年12月14日(土)に行われた0・1歳児クラスの生活発表会では、運動会は、泣いて親から離れることができなかつた子も、笑顔を見せたり、自分の気持ちを全身で表現したりする姿が見られました。

2・3・4・5歳児は令和7年2月22日(土)に、J:COM ホルトホール大分で生活発表会を行います。1年間で成長した姿の集大成となりますのでどうぞ楽しみにしててください。



行事予定

日	曜日	園児に関すること
6	月	年始め式、弁当日
7	火	身体計測(2・4歳児)
8	水	身体計測(3歳児)
9	木	身体計測(1・5歳児)、Kids English
10	金	避難訓練(火災・第3避難場所)
16	木	身体計測(0歳児)、健康診断、Kids English
23	木	Kids English
28	火	誕生会
30	木	Kids English

Instagramについて

8月よりInstagramを開始し、12月時点でのフォロワー数が118となりました。

少しずつではありますが、フォロワーが増えてきています。今後も園の情報を発信していくとともに、園で取り組んでいる様子を身近に感じ取れるようにしていきたいと思ひます。



お知らせ・お祈ひ

- ※ 1月の弁当日は、6日(月)です。子どもさんが楽しみにしています。忘れないようにお持ちください。
- ※ 1月の保育料の納入期間は、22日(水)・23日(木)・24日(金)の3日間です。
(期限内に納入できない場合は、教頭の奥下の方へご相談ください。)

「今しかない時間」

キッドワールド総合園長 牧野 桂一

先日、子育てが終わったお母さんたちの文化サークルに呼ばれて話を聞く機会がありました。みなさん、時間が自由に取れるようになった今、あらためてこれまでの「自分のやってきた子育て」について、いろいろな話を聞かせてくれました。それぞれ身に覚えのある話で、懐かしさから楽しいやらほろ苦いやらの話で盛り上がりました。

その中で、「子育てが終わって、これまでの子育てで後悔すること」という内容には、現役世代の人達に、是非聞いてほしい事柄がたくさんありましたので、4つの項目を上げながら皆さんに紹介したいと思います。

①自分の都合で怒ったこと

最初に、子育て中のことで一番反省していることとして上げられたのは「自分の都合で子どもを怒ったこと」ということでした。若かったと言うこともあるかも知れませんが、子どもより自分のことが先にあったといいます。子どもは何で叱られているのか分からないようなことも多かったのではないかと今思うと冷や汗が出てきそうだと言うのです。

③他の子と比べてしまったこと

また、子どもが少し大きくなると、周りの子ども達が気になり、「自分の子どもと比べて」無理な競争させ、子どもを苦しめるようなことをしてきたと言うのです。子どもは他人と比べられることがとても嫌ですから、「ぼくは、ぼくなんだから人と比べないで」という願いを込めて、とても反発していました。反発されても、反発されてもついつい他人と比べることが口に出てしまい、子どもを傷つけてしまっていたのです。このことは、大人の私たちでも、とても嫌なものです、それに気がつかなかったというのです。

②親の価値観を押し付けていたこと

次に、出てきたのが「子どもの言うことは聞かず、親の価値観を押し付けてしまっていた」ということです。親としては未熟であるにもかかわらず、自分の親としての考え方が正しいと勝手に思い言うことを聞かないのは子どもが悪いと思いつ込んでいたのです。このことは、随分子どもに反発されましたが、なかなか「歪んだ親としての考え方」を変えることができなかったということです。今思うと、これは本当に子どもに申し訳ないと思うことばかりですが、気がつけば大切な親子の時間を失ってしまっていたというのです。

④子どもの言葉にちゃんと応えてあげることができなかったこと

さらに、「子どもの『見て、見て』『聞いて、聞いて』にちゃんと反応してあげることができなかった」ということがあります。小学校の高学年になると、話してくれなくて悩んでいたのに、あの頃は、ちゃんと見てあげること、ちゃんと聞いてあげることができていなくて子どもに寂しい思いをさせていたと反省するのです。

他にも、「話をきちんと聞いてあげなかったこと」「仕事や家事を優先してしまったこと」「本人の好きなこと、やりたいことを応援できなかったこと」などなど沢山のエピソードが飛び出してきました。最後には、皆さんが、「子どもの今しか無い時間をもっともっと大切にしていなければならなかった」と悔やんでいました。そして、これらのことは、今どのように反省してももう取り返しはつかないので、自分たちの反省や後悔を「今子育てをしている人たち」、「これから子育てをしようとしている人たち」に伝えていこうとお互いに確かめ合っていました。

<エッセイに一言>

今回は「今しかない時間」というとても考え深いエッセイでした。誰もが、子どもと向き合って関わることの大切さはわかっているものの、仕事と両立していく中で時間に追われてしまうと、どうしても子どもにしわ寄せがでてきてしまいます。そうした時に、子どもを叱ったり急がせたりしてしまい、後から反省をすることが多いのではないのでしょうか。

子育てはなかなか思い通りにいくものではありません。育児についてのつまずきや悩み事などありましたら、遠慮なく職員に相談してくれたらと思います。私たちはお子さんの成長と一緒に喜び見守っていきたいと思っています。

キッドワールド子ども園 園長 高津 宏児